

第 117 回 電子情報通信学会 電磁界理論研究専門委員会
2023 年第 3 回 電気学会 電磁界理論技術委員会
合同委員会 議事録

日時：2023 年 11 月 9 日（木）16:00 ～ 17:30

場所：海峡メッセ下関（801 大会議室）

出席者

（電子情報通信学会 電磁界理論研究専門委員会）

川口委員長（室蘭工大）、鈴木 副委員長（都立大）、石田 幹事（九産大）、尾崎 幹事（日大）、夏秋 幹事補佐（東京大）、杉坂 委員（北見工大）、田中 委員（岐阜大）、渡辺 委員（福岡工大）、白井 顧問（中央大）

（電気学会 電磁界理論技術委員会）

古川委員長（日大）、中 幹事（宮崎大）、山本幹事（三菱電機）、新納 幹事補佐（京都大）、西本 委員（熊本大） 孟 委員（福岡大）、

議題

（電子情報通信学会 電磁界理論研究専門委員会）

1. 前回議事録確認（夏秋）

認められた

2. 電子情報通信学会英文論文誌 C(2024 年 4 月号)小特集について（山本前幹事）

山本前幹事より報告があった。5 件投稿、3 件採録決定。順次 Early access を公開中。

投稿論文について Full paper での引用上限 30 件など形式の確認が必要。採録通知や掲載料払い込み依頼のメールで行き違いがあった。招待論文の取り扱い（掲載料を減免できるのは一件のみ、研究会による補填や分割などは不可）。編集委員への依頼の手順など要確認

3. 電子情報通信学会英文論文誌 C 小特集号について（2025 年 4 月号について）（石田幹事）

編集委員を依頼し承諾を得た。シンポジウム会場で配布したものは Guest AE リスト未掲載。昨年 13 名に対して今年は 11 人だが追加したほうが良いか。

山本前幹事：投稿件数 11 件を超えた場合に問題となるが 10 件程度の想定でよい。

石田幹事：編集委員が担当を引き受けない可能性は考慮しなくてよいか。

尾崎幹事：分野から離れすぎているなど例外的な事例を除き編集委員が引き受けない想定は不要ではないか。

石田幹事：念のため招待論文を対応可能な 1～2 名を打診し可能であれば追加する。

CFP は EMT のウェブサイトに掲載

延長締切は 2024 年 4 月 8 日を想定（英語 CFP は締め切り日が 2023 年になっているので修正）

4. 2023 年度エレクトロニクスソサイエティ学生奨励賞候補者の推薦について（石田幹事）

3 名を推薦した。ただし全員が受賞するのではなく、今後選考がありエレス全体で 3 名程度となる。したがって、推薦文にはより前向きな文章を書くようお願いしたい。

5. 2023 年ソサイエティ大会シンポジウムセッション終了報告（石田幹事）

石田幹事より報告があった。

今回は初日と二日目の開催だったため聴講者が多かった。

6. 2023-2024 年度電磁界理論研究専門委員会活動（報告と計画）（石田幹事）

石田幹事より報告があった。

5 月研究会の会場と日程について、1.5 日の想定で会場を選定中。候補地は電気学会 27 日委員会と合同委員会、28 日編集委員会（28 日の実別会場の可能性有）。12 月 16 日までに決定しないと会告が出せない。

7 月の光・電波ワークショップ主幹は 2024: MW, 2025: EMT

7. 2024 年（第 53 回）電磁界理論シンポジウム準備状況について（尾崎幹事）

尾崎委員より報告があった。

新潟は 1 日 26~27 万円の見積もり。過去の EMT シンポジウムの開催形態は物価上昇の影響により不可能となる見込み。

田中委員：月～水の日程は前後の学会日程を考量したものか

尾崎幹事：他の学会日程のほか、会場費も考慮した。例年は温泉地を使う 2 日半の日程。

議論の結果、3 案のうち第一候補を優先として見積もりの確認などをする事とした。開催形態は今年と同じように宿泊地と会議場を分割する。

8. 令和 5 年度学生優秀発表賞選考方法について（夏秋）

夏秋委員より報告があり承認された。

9. 2023 年度（令和 5 年度）研究専門委員会第二四半期活動費等収支報告（夏秋）

夏秋委員より報告があり承認された。

10. その他

(ア) 和文 C の研究専門委員会からの特集号企画（編集委員等）について

特集号企画について打診があった旨報告があった。

編集委員について大久保先生から交代の要請があった旨報告があった。本来は3年交代の
はずが数代交代なく続いている。

(イ) 教育功労賞等への対応について

今年は見送ったが、ここ数年出していない。推薦するために2025年総合大会などでセッションを組むなど実績を工夫したい。

都立大では論文の書き方講座などを数年、大会でおこなった。

選考対象となるのに必要な項目などがある。

(ウ) 功績賞・業績賞への対応について

川口委員長より報告があった。

功績賞は今年佐藤先生

業績賞は白井先生

活動功労賞（エレスからの連絡待ち）は前幹事（山本前幹事）前幹事補佐

論文賞候補論文とエレス招待論文賞候補論文のノミネート依頼があった。

(エ) 大会参加費の改訂について

川口委員長より報告があった。

（電気学会 電磁界理論技術委員会）

1. 電気学会 A 部門活動資金申請について

古川委員長より報告があった。

電気学会財政上の都合を理由とする取り決めにより講演謝金を20,000円下限に合わせることとなった。資料 P37 案2の22274円申請、5,568活動補助金充当により謝金手取り25,000円としたい。交付金額が来年6月に決定した際に3万円支給が可能と判明したら案1へ切り替える。

2. 電気学会『優秀論文発表賞（基礎・材料・共通部門表彰）』規程

古川委員長より報告があり、規定について認められた。

3. 電気学会優秀論文発表賞 A 賞および基礎・材料・共通部門表彰候補者選定基準

古川委員長より報告があり、規定について認められた。

4. 令和6年度中期アクションプランの実現に向けたアンケート調査について
古川委員長より報告があった。2024年1月を締め切りとして意見調査の照会があった。

5. 電気学会研究会企画シート(2024年1月 光関係合同研究会)
中幹事より報告があった。